

2021 11月号  
VOL.095

KANAKEI

日本一明るい経済新聞 神奈川版

INNOVATION

〈発行日〉2021/11/12  
〈発行〉かながわ経済新聞合同会社(Kanakei.LLC)  
編集長 千葉龍太  
TEL 042-851-3021 FAX 042-851-3532  
〒252-0239 相模原市中央区中央 3-12-3 相模原商工会館 本館 1F  
〈監修〉産業情報化新聞社 編集長 竹原信夫  
〒550-0003 大阪市西区京町堀 1丁目 14-25 京ニビル 205号  
TEL 06-6445-7405 FAX 06-6445-7406  
URL <http://www.akaruinews.com>  
〈制作〉神奈川新聞社  
〈題字制作〉株式会社クライムエヌシーデー

※本紙全てのコンテンツの無断転載・複写・転用を禁止いたします。

# 「働きがい」追求で人材殺到

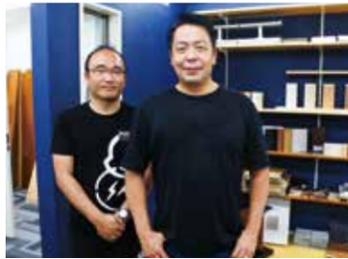
## 建新、来春の新卒採用に900人応募

戸建て住宅販売、建新(横須賀市小川町、☎046-827-6485)は、会社が定めた通常の勤務時間から前後数時間ずらして出勤・終業できる「スライド勤務制度」と、シングルマザー社員に対し毎月支給する「スマイル・ママ手当」を導入した。社員に「働きがい」を持ってもらったり、女性活躍を後押ししたりする狙いがある。すでに週休3日制も試験導入。入社希望者は急増しており、2022年4月の新卒採用では、採用予定数7人に対し、約900人の応募があったという。

1999年12月の設立以来「神奈川一チャレンジする会社」を掲げており、21年度は500棟の販売を見込む。30年までには売上高1000億円を計画する。

同社によると、都内の会社になくても自宅勤務できるテレワークの普及により、県内の戸建て住宅に対する需要が高まっているという。市場が拡大する中で成長を加速させるためには、

人材の確保が急務。そのため、同社は「攻めの働き方改革」として、今回の



「スライド勤務制度」を導入。前日までに申告すれば全社員に適用されるという。

同社の定時は午前9時～午後6時(現場は午前8時～午後5時)まで。例えば午後4時に終業したかったら、午前7時からの始業にできる。「子どもの送り迎えや介護、その他プライベートを問わず利用できます」(川西陽介・グループ事業管理本部本部長)と説明している。

さらに、偶数月の中で1週を「週休3日」にできる制度も試験運用している。

一方、同じく導入した「スマイル・ママ手当」は、以前からある「こども手当」(子ども1人につき月額5000円)とは別に、シングルマザーの社員なら

同5000円を追加支給する制度。「子どもの部活の備品など、今まで購入できなかったものに充てられます」(川西本部長)と話している。

### ■時代の波に早く乗る

脱炭素化やSDGsをにらみ、環境への取り組みも加速させている。

同社の戸建て住宅ブランド「ワイズヴェリー」では、建設現場で発生する産業廃棄物の大幅削減に成功。工場であらかじめ製作された柱や壁(構造面材、断熱材など)を持ち込み、現場で組み立てる工法を採用したためだ。「壁材などを現地で加工する必要がなくなるため、廃棄物が出ません」(同)という。

週休3日制やスライド勤務などの働



き方改革、そしてSDGsへの対応…。時代に合わせ素早く取り組むことが、結果的に差別化へつながり、成長の原動力となっている。

## フィジオロガス テクノロジーズ

### 日本初「小型在宅透析装置」開発へ

北里大学発ベンチャーのPhysiologas Technologies (フィジオロガステクノロジーズ、相模原市南区北里)が、日本初となる、在宅透析が可能な小型装置の開発に着手した。患者自身が自宅で透析できるようになることで、体への負担が大幅に減り、生活が変わるといふ。2022年にプロトタイプを開発し、25年の製品化を目指す。「一日も早く装置を世に出し、患者のQOL(生活の質)向上に貢献していきたいです」と、小久保謙一取締役は語っている。

透析患者は毎年4万人近く増えていくとされるが、患者にとって治療の負担は大きい。専門施設に週に3回通い、数時間の透析治療を受ける必

要がある。そのため、働く世代では仕事との両立が難しいとされる。

在宅治療を希望する声も多いが、技師や看護師が扱う複雑な装置を患

者本人が使うには、訓練に約半年間かかるという。

また、装置を自宅に置くにも広いスペースが必要になる上、1回の治療で水道水120ℓを使うので、排水を処理する水道配管の工事が不可欠。そのため、全国に約34万人とされる透析患者のうち、在宅透析は700人ほどにとどまるという。

### ■専門施設にも利点

現在、開発を進める装置は小型化

に加えて、透析液を再利用できる仕組みも構築することで、課題の一つである水道配管工事を不要にするという。特別な訓練がなくても使えるよう、操作性にもこだわる。

「働いて帰ってきた1日の終わりや移動先で透析ができれば、仕事と治



療を両立させ、以前と変わらない生活ができるようになります」(小久保取締役)。

専門施設にとってもメリットは大きいという。限られた面積と設備、人員では対応できる患者数に限界がある。コロナ禍でオンライン診療の普及が進んだものの、透析治療は専門施設に通院するしかなかった。

しかし、在宅透析が普及すれば、通院する透析患者にとっては選択肢が増え、新しい形の医療提供にもつながるといふ。

開発にかかる資金1億4000万は調達済み。技術シーズの社会実装化助成金「はまぎん財団Frontiers」にも採択されている。

## 電気給湯器の基幹部品で新工場

### ダンレイ、需要増にらみ茅ヶ崎市内に建設

水制御用バルブ(弁)製造販売、ダンレイ(茅ヶ崎市南湖、☎0467-85-2241)は、同市萩園に新工場を建設する。2022年8月の稼働を目指しており、電気給湯器「エコキュート」の基幹部品、減圧弁・逃し弁を生産する。脱炭素や省エネに対する機運の高まりでエコキュートの需要増を見込み、本社工場も手狭になったことから決めた。

エコキュート用の減圧弁、逃し弁で業界シェア6割超を占める老舗。現

在、各種業界向けに数十種類のバルブを年間約165万台生産。エコキュート用は、その中でも主力事業と位置付けている。

森上和久社長によると、エコキュートは2002年の発売開始から普及が進んでいるが、現在は買い換え時期に当たり、年間60万台程度の市場があるという。

「(住宅やマンションなど)建物の省エネ化も求められていることから、これからも需要が増えます」(森上和久社長)としており、新工場建設を決めた。

新工場は2階建てで、延べ床面積約3000平方メートル。現工場に金属部品の切削加工などの機能を残し、アセンブリー業務は新工場が担う。

すでに着工しており、22年6月の完成、同8月に稼働させる予定。稼働により、減圧弁・逃し弁の生産能力が高



まるとしており、人員も増やす計画だ。

### ■業界のオンリーワン

1953年3月に設立。エコキュート用の減圧弁・逃し弁で、これまで主流だった金属製から腐食がない樹脂化に業界で初めて成功した。現在は市場シェア6割超を占めるオンリーワン企業になっている。

エコキュートの減圧弁は、お湯をためるタンクに給水する際に水圧を制御する役割を持つ。一方、逃し弁(安全弁)は、湯を沸かした時にタンク内で膨張した圧力を逃がしてタンクの破損を防ぐ。最近では世界初、逃し機構付きの樹脂製の減圧弁も開発している。

## 在留資格「特定技能」の課題

2019年から始まった、新しい在留資格「特定技能」ですが、運用開始から2年ほどがたつて、さまざまな課題が見えてきています。

特定技能では、「相当程度の知識又は経験を要する」仕事をする特定技能1号と、「熟練した技能を要する」仕事をする特定技能2号があり、特定技能1号は製造業や介護、飲食、宿泊業といった14の業種で働くことが可能です。当初は、特定技能の外国人がなかなか増えてこなかったのですが、コロナ禍で、外国から入国してくるはずの技能実習生が入国できなくなり、技能実習が修了した外国人がそのまま特定技能に在留資格を変更することも多くなってきました。

既に日本にいる外国人を特定技

能外国人として雇用するには、外国人の働く会社など(特定技能所属機関)は入管に在留資格を変更するための書類を提出します。これには、さまざまな要件があるのですが、要件を満たしていることについての証明が必要なかったりするために、実態と異なる記載がされているという事例も発生しているようです。

しかも、所属機関が外国人を支援しきれない場合、特定技能外国人支援を所属機関に代わって行うことになる「登録支援機関」には、いろいろな業種から参加が続いています。

そろそろ、申請のあり方など、もう少し制度の規制を強化する方向での議論が始まっていいのではないのでしょうか?

(のぞみ総研代表取締役)



今村正典の海外市場

